

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師： 奥羽大学歯学部
教授 寺田 善博 先生
2. 演 題： 陶材焼付冠に関する様々な研究
3. 日 時： 平成28年 2月18日(木)17:00～18:00
4. 場 所： 歯科棟南4階 歯学部特別講堂
5. 抄 録

陶材焼付冠は、特に前歯部の修復において、患者さんの審美的要求を満足させるために強度的に問題のあったポーセレンジャケットクラウンに代わって広く使われてきました。その後、審美的要求の高まりにより、カラーレスの陶材焼付冠の研究が行われ、また別の研究者達は陶材と金属の結合力を改善しようと努力しました。また、生体適合性や機械的性質が優れているため、チタンやチタン合金も使われました。その後、多目的の金合金と低溶陶材から成る陶材焼付システムも紹介されました。

そして、現在のメタルフリーのオールセラミッククラウンへとつながっていくのですが、今回は「陶材焼付冠に関する様々な研究」についてお話させていただきます。

連絡先： 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)